

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

日本化薬株式会社福山工場

(2) 事業所の所在地

広島県福山市箕沖町126番地

(3) 業種

1634 環式中間物・合成染料・有機顔料製造業

(4) 事業所位置図 別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、2019年度を基準年度とし、2021年度から2025年度までの 5 年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 基本的な考え方

当工場は、環境の保全を経営の重要環境問題と位置づけ、環境に配慮した事業活動に努め、環境への負荷の低減を推進することにより、持続可能な社会づくりに貢献します。

特に、今日の環境問題の中でも、とりわけ重要視されている地球温暖化防止については、自らの事業活動のみならず、当工場の製品を使用する消費者のことも考慮し、温室効果ガスの排出抑制に努めていきます。

2. 方針

- 省エネルギー、省資源の推進
- 新エネルギーの導入
- 環境にやさしい製品の提供
- 廃棄物の排出抑制・リサイクルの推進
- グリーン購入の推進
- 環境保全活動への積極的な参加
- 従業員への環境教育の徹底

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)
二酸化炭素	9,162	9,694

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (2019年度)	削減目標		目標年度 (2025年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	9,162	5.5	500	8,662
非エネルギー起源CO ₂				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方	日本化薬グループ全体の2030年度環境目標「2030年度の温室効果ガスを2019年度比で32.5%削減」に基づき、設定。			

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (年度)			原単位 削減目標	目標年度 (年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
非エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	プラント操業の最適化	2021年度→2025年度 500t-CO2	MFCA解析の実施（エネルギー無駄の抽出等）
2	省エネ機器選定		ファン・ポンプ；インバーター、台数盛業 産業用ヒートポンプ導入
3	太陽光発電システム採用		土地有効活用し、PPA（太陽光発電自家消費型）の導入
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

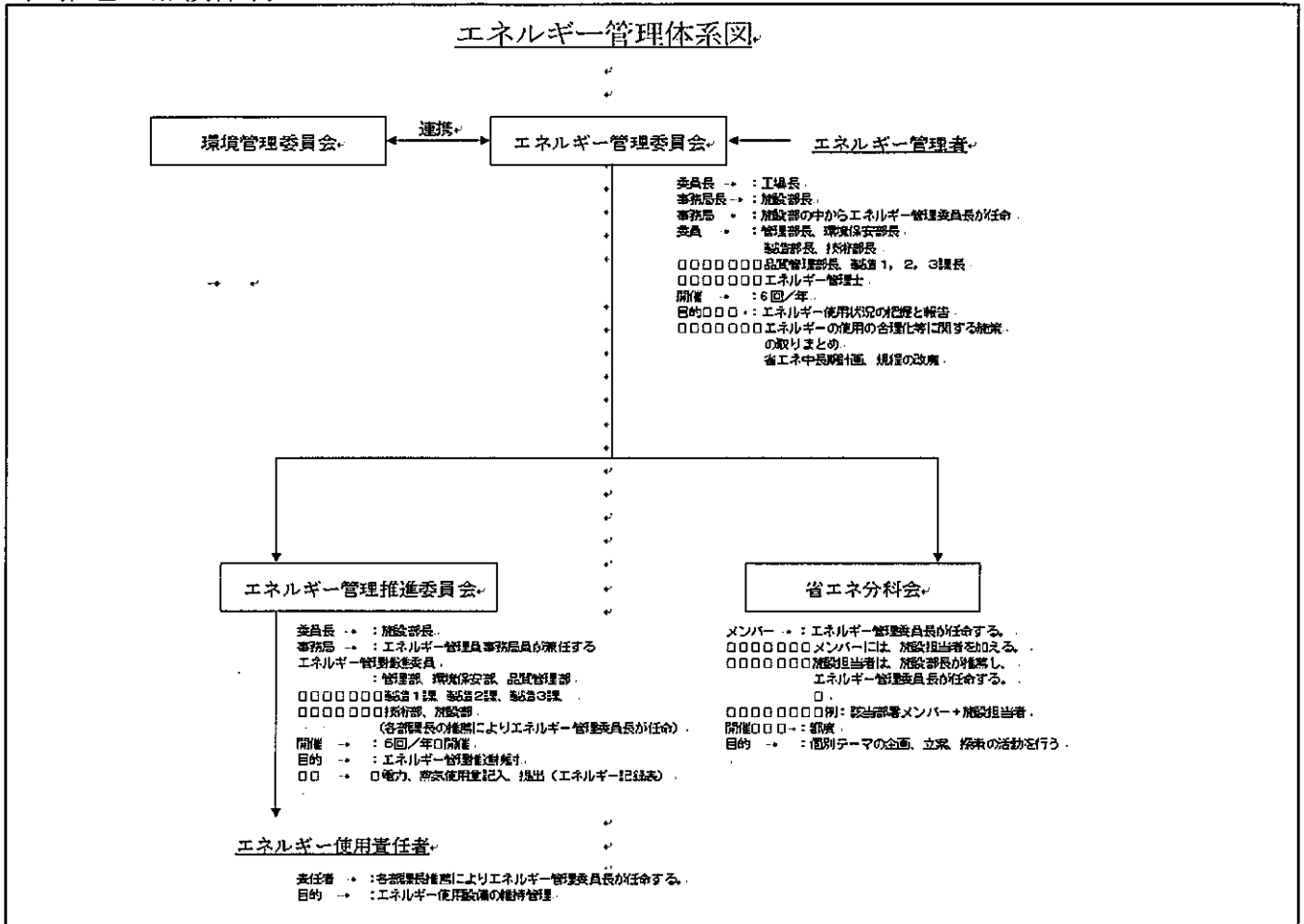
○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

- ・隔月に開催するエネルギー管理委員会にてエネルギー使用状況の確認、対策の進捗確認を行う。
- ・隔月に省エネパトロールを実施し、保温不良箇所やエア漏れ調査、対応を行う。

(3) 計画書等の公表

工場内の管理部管理担当に、書類を備え付け公表する。